

事故防止 44号
2019年7月1日

関係団体 殿

公益財団法人日本医療機能評価機構
医療事故情報収集等事業
執行理事 後 信
(公印省略)

医療事故情報収集等事業
2018年年報および第57回報告書の送付について

平素より当機構の実施する事業にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

当機構においては、医療事故防止事業部において、医療事故情報収集等事業の円滑な実施に努めているところです。

この度、医療事故情報収集等事業 2018年年報および第57回報告書を取りまとめましたので送付申し上げます。ご査収くださいますよう宜しくお願い申し上げます。また、各都道府県知事、各保健所設置市長、及び各特別区長宛にもお送りしておりますことを併せてご連絡いたします。

本年報および本報告書は、公表後、当機構のホームページにも掲載しております (<http://www.med-safe.jp/>)。

なお、本年報及び本報告書は7月5日（金）に公表の予定となっており、それまでの間は非公表の取り扱いとなります。公表までの間、取り扱いにはくれぐれもご注意くださいようお願い申し上げます。

今後とも本事業の一層の推進に努めてまいりますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

医療事故情報収集等事業 第57回報告書のご案内

1. 集計報告（対象：2019年1月～3月）

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2019年			合計
	1月	2月	3月	
報告義務対象医療機関による報告件数	337	228	468	1,033
参加登録申請医療機関による報告件数	45	26	20	91
報告義務対象医療機関数	274	274	274	—
参加登録申請医療機関数	803	804	806	—

(第57回報告書 14頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2019年1月～3月	
	件数	%
薬剤	61	5.9
輸血	3	0.3
治療・処置	307	29.7
医療機器等	19	1.8
ドレーン・チューブ	87	8.4
検査	52	5.0
療養上の世話	341	33.0
その他	163	15.8
合計	1,033	100.0

(第57回報告書 15頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業

1) 参加医療機関数 1,242 (事例情報報告参加医療機関数 660施設を含む)

2) 報告件数 (第57回報告書 18頁参照)

①発生件数情報報告件数：224,063件

②事例情報報告件数：7,909件

2. 事例の分析

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 他施設や在宅で使用していた医療機器等の持ち込みに関連した事例 【22～31頁参照】
- (2) 検査・治療時の鎮静に使用する薬剤の投与量やタイミングを誤った事例 【32～43頁参照】
- (3) 術式間違いに関連した事例 【44～53頁参照】

3. 再発・類似事例の分析

これまでに、「分析テーマ」や「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例のテーマは下記の通りです。

- (1) 名称類似による「薬剤の取り違い」(医療安全情報 No. 4、68) 【56～66頁参照】
- (2) 「体位変換時の気管・気管切開チューブの偶発的な抜去」(医療安全情報 No. 54) 【67～76頁参照】

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。